

中部国際空港セントレアの利用状況について

- ・2019年度実績（航空旅客数・航空機発着回数）は過去最高記録を更新
- ・2月以降新型コロナウイルスの影響が直撃
- ・2020年夏ダイヤ 開港以来初となる国際線の就航がゼロに
- ・4月の航空旅客数 前年同月比▲94%の6万4千人、過去最低を記録
- ・地元需要あつてのセントレア。路線復活後の業務渡航はセントレアの積極利用を！

目次

1. 2019年度 セントレア航空旅客・航空機発着回数の実績
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. セントレアの回復に向けて
4. 中経連の取り組みと皆様へのお願い

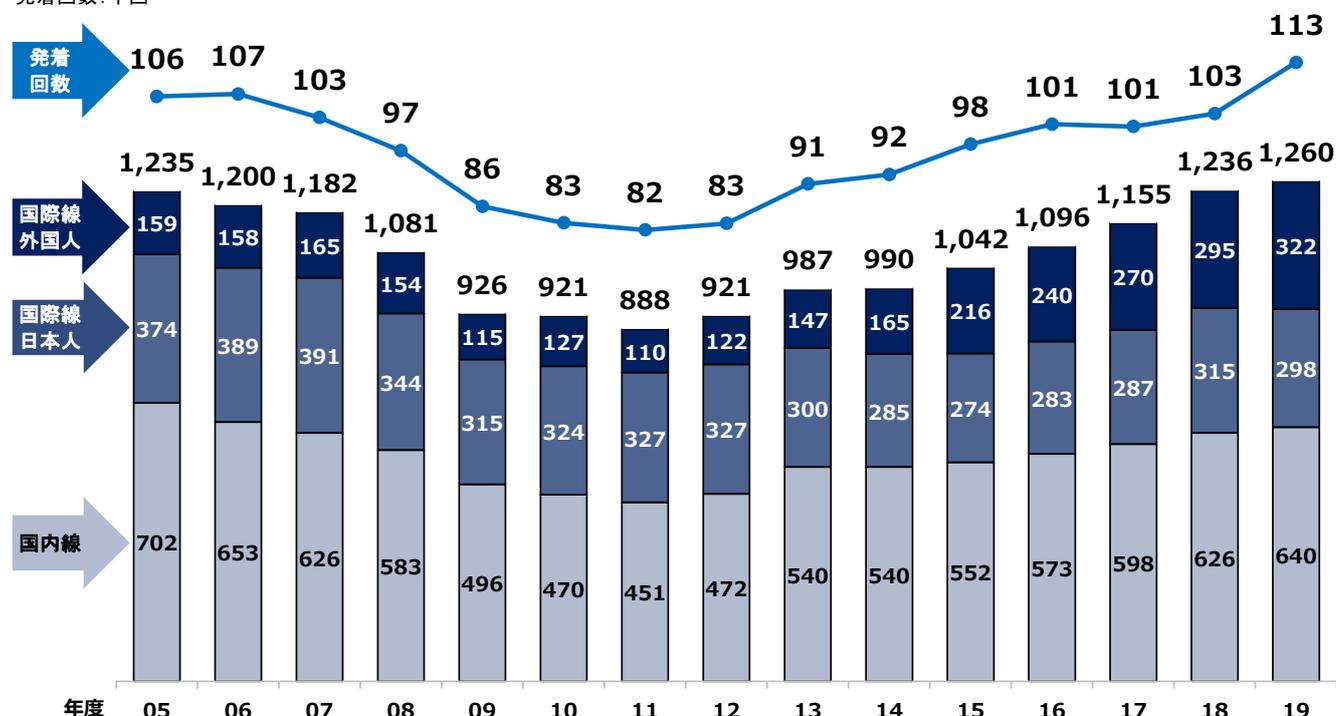


1. 2019年度 セントレア航空旅客・航空機発着回数の実績

- ・ 1月下旬以降、新型コロナウイルス感染拡大による甚大な影響を受けつつも、航空旅客は2018年度に引き続き過去最高値を更新し1,260万人となった。
- ・ 航空機発着回数についても、過去最高値であった2006年度の10.7万回を更新し11.3万回となった。
- ・ 主な要因は、2011年以降続く訪日外国人需要が大幅に増加していたことによる。
- ・ 2019年度は年度数値として初めて国際線外国人利用者が国際線日本人利用を上回った。
- ・ また、9月にLCC向けの第2ターミナルが開業し、国内線を中心に日本人利用も順調に推移していた。
- ・ 上記のような2019年中の順調な需要を背景に、2020年1月時点では国際線の就航地は過去最高の42都市、週486便の運航が計画され、更なる飛躍が期待されていた。

セントレア航空旅客・発着回数推移

航空旅客:万人
発着回数:千回



出所: 中部国際空港株発表の利用実績2005年度~2019年度を基に本会作成



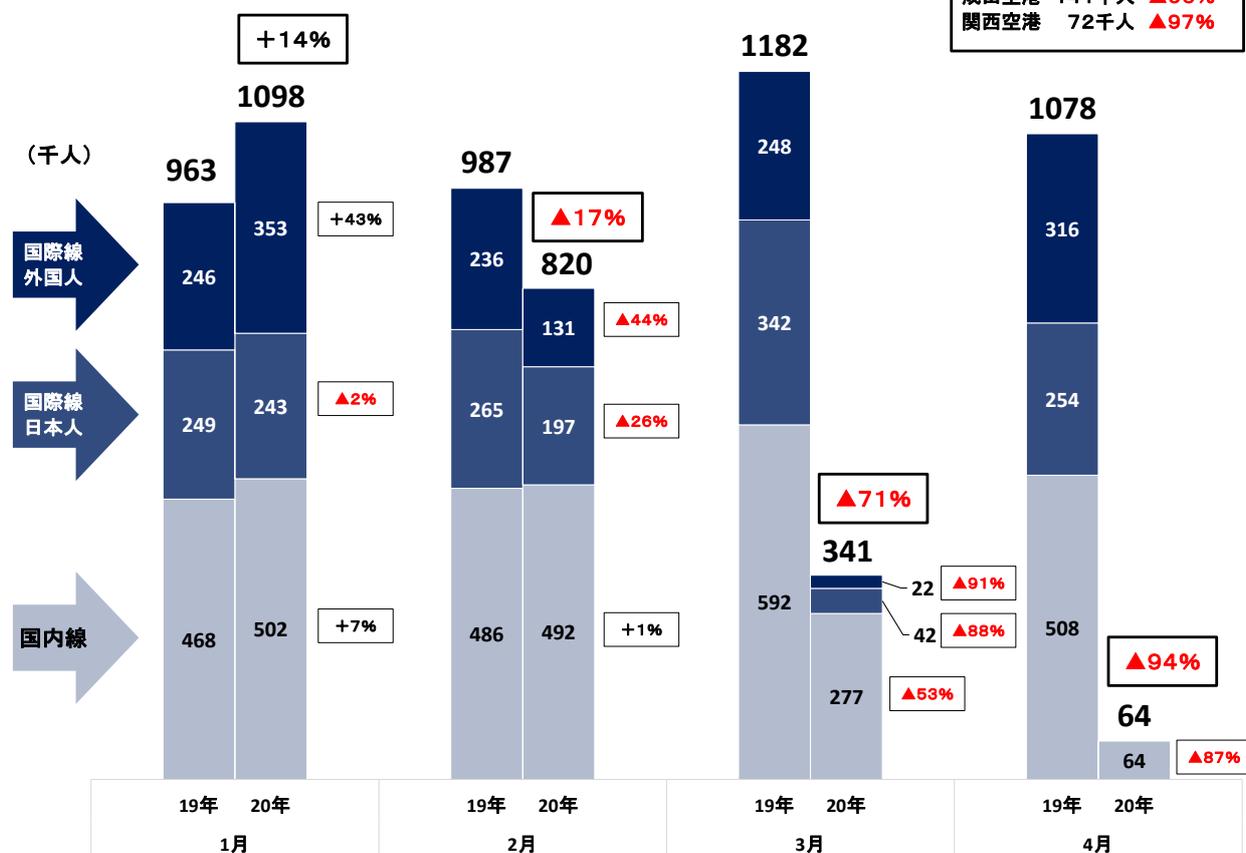
2019年9月にオープンした第2ターミナル出発ロビー
(9月撮影) 空港会社提供

2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響

- ・ 2月 中国便を中心に、欠航・減便・運休が相次ぎ利用者は前年同月比で17%の減となる。
- ・ 3月 感染拡大を受け、国際線の大半が欠航・運休となり国際線の利用者は9割減。2020年夏ダイヤスタート時(3/29)には開港以来初の国際線ゼロとなる。国内線も減少に転じ前年同月比で半減する。
- ・ 4月 国際線ゼロが継続。国の緊急事態宣言を受け国内線の利用も9割減。国際線も合わせ利用者は前年同月比で▲94%となり、史上最低の利用実績となる。他の国際空港も大打撃を受けており、前年同月比で▲96~97%の下落となっている。
- ・ 5月 国際線ゼロが継続。国内線の就航都市・便数が大幅減となる。一方、国際線ゼロの影響により、旅客便の貨物スペースが利用できなくなったため代替手段として貨物専用便の運航が増加している。

セントレア月次旅客実績の比較 2019年・2020年

※枠線内は前年同月比



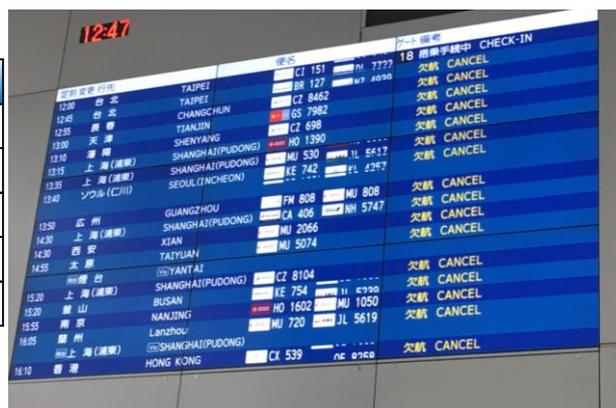
出所：中部国際空港㈱発表の利用実績2018年度および2019年度を基に本会作成
成田空港・関西空港の数値は各空港発表数値に基づく

2020年月次就航都市数・便数の推移

		1月	2月	3月	4月	5月	6月
国際線	就航都市数	42	40	21	0	0	0
	便数/週	486	460	255	0	0	0
国内線	就航都市数	19	19	19	17	11	11
	便数/日	97	89	90	76	21	23
貨物専用機	便数/週	28	28	27	26	33	33

※数値は航空各社の月初時点の運航計画

出所：中部国際空港㈱発表資料を基に本会作成



欠航で埋め尽くされた案内ボード
3月27日 本会撮影

3. セントレアの回復に向けて

- ・ 5 月下旬、政府による「新型コロナウイルス感染症緊急事態解除宣言」がなされ、社会経済活動の再スタートを切られた。とはいえ、感染リスクは依然残っており、政府が提唱する「新しい生活様式」を取り入れながらの社会経済活動となるため、コロナ以前ほどの移動需要の回復には今しばらく時間がかかると予測される。
- ・ 現時点（6/1）において、セントレアの国際線は依然ゼロではあるが、7 月からはヘルシンキ線の復便が発表されるなど明るい兆しも見え始めている。
- ・ 大きな痛手を負った中部経済の復活には、セントレアの航空ネットワークが充実しヒト・モノの交流・対流の活性化は欠かすことができない。

4. 中経連の取り組みと皆様へのお願い

- ・ 中経連では、事務局を務めている「中部国際空港利用促進協議会」での活動を中心に、航空路線の復活に向けた航空会社への働きかけ、国機関と連携した国際プロモーション活動、国内就航先都市との交流事業の活性化など、時期を見極めながらセントレアの需給拡大に向けた事業を推進してまいります。
- ・ 会員の皆様には、セントレアの路線が復活した後、航空機を使った出張の際には必ずセントレアの利用を前提に旅程を組んでいただけるようお願い申し上げます。
- ・ 特に、北米や欧州といった国際長距離便は地元企業の皆様のご利用があって初めて成り立つ路線となります。セントレア発の国際線を利用することがこの地域の発展に繋がります。重ねてご利用をお願い申し上げます。

フライ・セントレア・カーゴのご案内

- ・ 中部国際空港利用促進協議会はセントレアにおける国際貨物取扱量増加に向けて各種インセンティブプランをご提供しております。北米・アジア向けの貨物専用便はコロナ以前と変わらず運航しております。海外への物品の搬送の際には積極的に当プランをご利用ください。詳しくは以下リンク先（または QR コード読み取り）をご覧ください。

中部国際空港 フライ・セントレア・カーゴ特設ページ

https://www.centrair.jp/fly_centrair_cargo/



本レポートの問い合わせ先：一般社団法人中部経済連合会 社会基盤部 和田（052-962-8091）